

プライマリケア(1年次 1ヶ月)研修プログラム

(一般目標)

救急外来での受診患者の初期対応（病歴聴取、診察手技、検査オーダー、診断、治療など）について、診察マナーを含め基本的事項について学習することを目標とする。

- ・ 患者診察の基本姿勢を体得する。
- ・ 臨床医として今後患者さんから一生学び続けていく姿勢を身に付ける。

(行動目標)

1. 病歴聴取と身体診察の基本を修得する。
 - A) バイタルサインの基本解釈
 - B) 腹痛の病歴聴取と診察
 - C) 胸痛の病歴聴取と診察
 - D) 腹膜刺激症状と胸膜刺激症状
 - E) 頭痛の病歴聴取と診察
 - F) 脳血管障害の病歴聴取と診察
2. 基本的検査（心電図、単純レントゲン）の解釈を学ぶ。
 - A) 12誘導心電図の基本判読
 - B) 肺炎と心不全のレントゲン所見
 - C) 腹痛疾患のレントゲン所見
 - D) 骨折・脱臼のレントゲン所見
3. 軽症外傷の評価と応急処置が行えるようにする。
 - A) 打撲、挫傷、挫創、捻挫の評価
 - B) 応急処置（三角巾、固定帯、ソフトシーネ、アルフェンスシーネなど）の実際
4. プライマリケア医としての外来管理の基本を学ぶ。
 - A) 生活習慣病の患者管理の基本
 - B) 複数の問題点をもった患者の総合的管理・各専門診療科との連携

(研修方略)

1. 救急外来を受診する患者の診療にあたり、上級医（2年次）や専属医、該当担当専門医の指導の下、診療、検査に携わることで、内科系・外科系に拘らない幅広い基礎知識と基本的手技、治療法を習得する。また、診療マナーを含め、コメディカルとの円滑なコミ

コミュニケーションをはかることによりチーム医療の一員としての自覚を身につける。

2. 朝 8 時より専属医指導の下、夜勤担当の 2 年次研修医より朝の全診察症例のプレゼンテーションを行なっているが、一緒に参加することにより、プレゼンテーションのやり方を学ぶ。

(評価)

1. 自己評価

EPOC および症例レポート、自己評価表を用いて自己評価を行なう。

2. 指導医による評価

- ・ EPOC および症例レポートを用いて評価を行なう。
- ・ 診察にあたった患者の診療や電子カルテ記載について、その場でディスカッションによる評価を行なう。

3. コメディカル（看護師・技師）による評価

EPOC および評価表を用いて評価する。

4. 研修医による評価

EPOC および評価表を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）、プログラム内容を評価する。